

The background features a series of concentric circles in light gray, some solid and some dashed, creating a ripple effect. A large, solid red speech bubble is centered on the page, pointing downwards.

PHP自作

目次

- 参考資料 Laravel
- 参考資料 Docker
- ハンズオン
- 自作作成
 - 自作の流れ
 - 企画
 - 要件定義
 - WBS
 - テーブル定義とER図
 - 画面定義書と画面遷移図
 - 開発
 - テスト
- プレゼン

参考資料

Laravel

- [フレームワークとは](#)
- [Laravelの特徴](#)
- [Laravel基礎\(使い方\)](#)
- [Laravel公式サイト](#)

参考資料

Docker

- Dockerとは
- Dockerのインストール
- Dockerの基礎的なコマンド

ハンズオン

- Laravel/Dockerハンズオン.pdfを参照しながらLaravelの初期画面を表示させましょう。
 - ここではコピペでコンテナが立ち上がるようにあらかじめファイルの設定などを記述していますが、DockerFileの書き方やDockerコマンドなどネットで調べながらDockerの立ち上げ方や流れを掴んでください。

自作作成

自作流れ

- ダウンロードした自作システム開発の流れ.pdfで主な自作カリキュラムの流れと提出物の確認をしてください。
- 上記の確認が終わったらP8以降のそれぞれの提出物の説明やサンプルを確認しカリキュラムを進めてください。

企画

- 企画で考える内容として以下について考えて作成する自作アプリの企画案を作成してください。
 - なぜこのアプリを作ろうと思ったのか(背景)
 - どうやってマネタイズするのか
 - 誰に必要とされるのか
 - 機能/非機能一覧

*特にフォーマットなどはないのでwordなどで上記をまとめたものをPDF化して提出してください。

要件定義

- 企画段階で決めたものを作るのにどんな機能が必要か考えてください。
- 以下満たすべき条件を確認してください。(作りながら都度確認してください)
 - Laravelを使った実装
 - CRUD(一覧表示、登録、編集、削除)の機能がそれぞれ1つ以上あること
 - テーブルが3つ以上あること
 - ユーザが2種類以上存在すること
 - ログイン機能があること

WBS

- 実務ではWBSというスケジュール管理表のようなものを作成しシステム開発を行う場合が多いです。
- 要件定義で決めた機能を実装できるようにWBSを作成してください。
- 以下、参考資料
 - [WBSとは](#)
 - [WBS見本](#)

テーブル定義書 ER図

- アプリ作成に必要なデータベースの設計を行いテーブル定義書とER図の作成を行ってください。
- 参考資料
 - テーブル定義書書き方
 - ER図とは

画面定義書 画面遷移図

- 画面定義書で意識することは他人が見ても理解しやすいように記載することです。自分しか理解できない資料は意味がありません。
- 画面定義書とは
- 画面遷移図書き方

開発

- WBSのスケジュールに合わせて開発を行ってください。
- 実務に入ると基本的にはチームでの開発を行います。
- 開発はただ動けばいいというものではなく他のエンジニアが理解しやすいコード、保守しやすいコードを意識して開発を行わなければなりません。
- 開発にはLaravelを使用してください。
- 以下のリンクから読みやすいコードとは何か理解し開発を進めてください。
 - [リーダーブルコード要約](#)

テスト

- テスト段階ではあらゆるデータやユーザの挙動を想定しアプリの品質を担保します。
- 参考資料
 - 単体テスト観点
 - 単体テストフォーマット
 - 結合テスト観点
 - 結合テストフォーマット

プレゼン

- 自作発表会に備えてプレゼンテーション用のパワーポイントを準備しましょう。
- 発表会には以下の項目を含めてください。
 - 作成背景
 - 全体のアプリの説明
 - アプリのデモ
 - 今後の展望